

# 平和新聞

発行 日本平和委員会  
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会  
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル 210号  
電話 06(6765)2552 FAX 06(6765)2837  
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

## 不屈のたたかひの提要は地道な営みの続行

### 【西 晃会長】

新年あけましておめでとございます。

政府の行為により再び戦争の惨禍が起きることのないように決意したはずの日本。どうも雲行きが怪しいようです。マスコミでも中国の脅威だ、敵基地攻撃能力保有だと、勇ましい論調が幅を利かしています。

私が信じ、そして実践してきた立憲主義・民主主義・法の支配・地方自治がなし崩し的に崩されていく不安は確かにあります。

でも決して諦めまい。歩みを止めまい。日本国憲法が国民に保障した基本的人権を絶対に守り抜く。過去幾多の試練に耐えた先達のたたかひの教訓に学び、団結して前に進む。私たちは勝つまでたたかひを絶対に止めません。今年5月に復帰50年を迎える沖縄の不屈のたたかひの提要は、地道な営みを日々弛まず続けることにあるのだと思います。

だから何度でも繰り返し言います。日本国憲法を日々の暮らしに活かすこと。そして沖縄辺野古新基地建設絶対阻止を。今年も私の目標はこれです。平和の仲間を心より信じて。

### 【近藤正・理事長】

困難にめげず新たな高みへ！

オミクロンの感染が急速に広がっています。お体には十分気を付けてください。三年間に及ぶコロナ禍の中で、社会や政治のいびつな姿が浮き彫りにされ、

気づかされました。新自由主義による勝ち組・負け組、貧富の格差拡大、地球危機、ジェンダー平等、核兵器禁止など正すべき課題が明確になってきました。

「平和の出番」と言われて久しいですが、平和委員会はそれに応える力量を培ってきたでしょうか。年初にあたりみんなぞ知恵を出し合いたいですね。

私は「ウの目ハトの目」(こ)

欄の執筆を始めて約八年になります。編集部にお願ひして交代して頂くことになりました。これを機に、春ごろまでに本を出版したいと考えています。時々平和の課題や書評など心の動きのままに書き綴ってきました。ご笑覧いただければ幸いです。生きてきた悔いなく生きてきた盤寿 正

### 【中村玉枝副理事長】

今年の書初めは「集」としました。

コロナ禍で、集まっておしゃべりすることがいかに大切かを感じ知らされたからです。

平和委員会でもおしゃべりも学習会もままなりませんでした。

コロナ禍で明らかになった格差と貧困の拡大にストッパをかけるためにも、フードバンクの他、気候危機やジェンダー平等、「憲法活かそう」の署名行動やスタンディング宣言も、皆さんの心に響く言葉で対話アピールできるか！工夫していきたいです。

### 【吉田一江事務局次長】

怒りのトラになって、9条を守りたい。

戦後のベビーブーム時代に生まれ、新しい憲法に守られ、教育、労働、社会保障を受け、自分の考えを言える時代を過ごしてきた。畑田重夫さんとまではいかないが、「憲法人生」を歩んできた。岸田政権になった今憲法9条が最大の危機にさしかかっている。行動無しには平和が守れない。怒りのトラになって9条を守りたいと思う。

\*本年もよろしくお願ひいたします

会長 西 晃

副会長 岩田幸雄、片方真佐子

山本陽子

理事長 近藤正

副理事長 亀井明子、中村玉枝

事務局次長 上羽治雄

次長 吉田一江

## 沖縄連帯行動

大阪平和委員会は平和遺族会とともに、1月14日正午から約一時間にわたり近鉄上本町駅前で沖縄連帯行動を16人(うち女性11人)の参加で実施しました。

平和遺族会の中溝千恵事務局次長がマイクを通して「平和憲法



は空気のように私たちを守っていてくれるのに、岸田政権はその憲法を変えて日本を『戦争する国』に変えようとしている。77年前に終わった戦争で父を亡くした遺族として許すことができない」と、上羽治雄事務局次長は、「日本全土の基地の7割が集中する沖縄でオミクロン株感染が急増している。クラスター(大規模な感染者集団)が米軍基地内から昼夜を問わず外へくりに出すからだ。そんな沖縄に新基地をつくるなどもつてのほかだ」と訴えました。

参加者は「米軍の感染拡大に歯止めを！米軍フリーパスの日米地位協定は改定を」と訴えるチラシを配りながら、「辺野古新基地建設中止と普天間基地撤去を求めると「日米地位協定の改正を求める」の二つの署名への協力を通行人に呼びかけました。

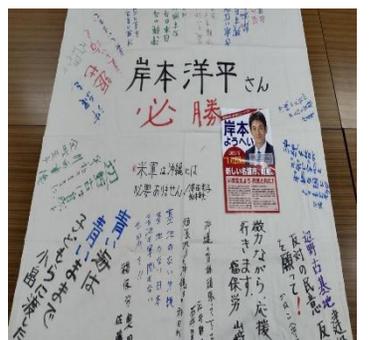
その結果、前者16筆、後者17筆の計33筆の署名とカンパ10200円(うち1万円は「名護市長選カンパに」と言って女性から)が寄せられました。

寒風のなかでしたが、元気を取りもどす行動となりました。

## がんばれ洋平ちゃん

1月16日告示、23日投票開票で沖縄県名護市長選挙が実施されます。

この選挙には、オール沖縄の玉城デニー知事を支え、辺野古新基地建設を許さない岸本洋平



さんが立候補しています。オミクロン株感染の拡大のため本土から現地に行つての直接支援は中止となりました。

このため、大阪平和委員会はカンパと寄せ書きの二つで洋平さんを支援することに決め、皆さん方にご協力をお願いしてきました。その結果、1月17日現在で寄せ書きは大阪平和委員会事務局と関目学園と財団法人から3枚、カンパは30万円以上寄せられましたので洋平さんの事務所などに送付しました。

### 【コロナ禍の中見つけた素敵な言葉】

「農業はある意味、ケアしていく仕事なんです。家畜をケアしていく仕事でもあるし、山林や農地、土壌の微生物、そして人間自身も」

1月13日西谷文和さんが平和新聞代を払いに来所。その際、西谷さんと7人との対談集「自公の罪 維新の毒」(日本機関紙出版センター、1,400円+税)をすすめられ、早速藤原辰史さん(京都大学人文科学研究所准教授)との対談「コロナ・パンデミックの中で農業を考える」を読んで見つけた言葉です。



# 平和委員会の真骨頂は地域にあり

## 天王寺―恒例戦跡めぐり

1月2日、恒例の大坂城新春ウォーキングを行いました。今回平和新聞でチラシを配布したところ堺、吹田、北区の仲間や詩吟サークルの21名の参加がありました。

午前10時に馬場町の歴史博物館横の広場に集合し、①ラジオ塔②教育塔③射撃場跡④陸軍省標柱⑤鶴彬川柳碑⑥地下壕出入口の跡⑦第4司令部跡⑧教育勅語碑を森田敏彦さん(天王寺九条の会代表)のガイドでまわりました。鶴彬川柳碑の前では、「戦死した父に一度も抱かれることもなく、その後の母の苦勞を思うと戦争だけは絶対に起こしてはならない」と訴えた野村さん、詩吟サークルの3人からは憲法9条を、天王寺からは南京玉すだれを披露し交流を行いました。

今回、はじめて知ったのは大坂城のラジオ塔と射撃場跡のことです。ラジオ塔は1939年多くの人にラジオを手軽に無料



で聞いて、ラジオの魅力を知ってもらいたいと建設。射撃場は1931年天守閣の下、全長30m幅15m高さ4m、兵士の射撃訓練場として建設されたことを知りました。鶴彬碑の場所にあった衛戍監獄(兵士の監獄)の建物写真は未だ見ていませんが写真が残っていればと思います。【天王寺ニュースより】

## 東大阪―スタンディング

東大阪は1月1日と2日石切神社への参拝者を対象にプラスチックを持って宣伝行動を実施しました。



## 東住吉―成人式宣言

東住吉平和委員会は、1月10日長居のヤンマースタジアムで行われた東住吉の成人式に参加する新成人に対しビラ配布、署名、アンケート活動に取り組みました。積極的に署名に応じてくれる青年もいました。



## 生野―フードバンク

12月19日年内4回目のフードバンクが生野区民センターで実施されました。ボランティアスタッフが9時30分に区民センターに集合し①基本セット②冷凍食品③野菜とつきたて餅④カップめん⑤缶詰、⑤日用品のコーナーに分かれ準備をし、⑥受付⑦アンケートコーナーも整い、13時30分には150名の来場者が会館の前に列をなし、開場されるのを待っていました。10名ずつ来場していただき会場内に50名待機、外では隊列の整理や駐輪場の整備などにもスタッフを配置。いよいよ待ちに待った14時に受け付けが開始され無料市場がスタートしました。

赤ちゃんを抱っこしたママさん、子供連れのご夫婦、高齢の男女、車いすの方など整然と5つのコーナーで食品や日用品を受けとり、出口でアンケートを書いて帰られました。

「こんなにたくさんありがとう助かります。」「お米はいくらあってもうれしい」など話しながらとてもうれしそうでした。

今回のフードバンクでは、今までと違って冷凍食品の提供がたくさんあり、保冷バッグ準備、又「ひよりや」さんからの丸もちは息子さんなど4名の協力もあり



って出来がりました。今回も大変多くのみなさんの支援と協力があった成功させることができました。コロナ禍の状況が2年も続き、まだまだ先が見えてきません。苦しいこの時期を乗り切るために、国や自治体への働きかけも同時に行いながら、これからは食料無料市場を続けていきたいと思います。

## 6・9行動に協力

大阪原水協は1月6日正午より1時間弱にわたり近鉄上本町駅前「6・9行動」を実施しました。

寒いなかにもかかわらず、新年最初の取り組みということもあり、天王寺平和委員会などから25人の仲間が駆けつけてくれ昼食をとりに出てきたサラリーマンや学校帰りの中高生に「2022年を核兵器廃絶の大きな前進の年に―核兵器禁止条約に参加する日本を」と呼びかけるチラシを渡しなが、「日本政府に核兵器禁止条約の批准・署名を求める」署名への賛同を求め



ました。橋口原水協事務局長、立川・うたごえ協議会副会長、菱沼大教組副委員長、上羽事務局長の4人がマイクを持ち、12月ペルーが加入したことで核兵器禁止条約批准国が59カ国になったことなど核兵器禁止条約をめぐる力強い動きなどを紹介するとともに、世界で唯一の被爆国でありながら禁止条約に参加しない日本政府の態度をきびしく批判しました。

この行動では、23筆の署名とカンパ千円がよせられました。が印象に残ったのは、一人の女子中学生が署名に応じてくれたことでした。

### 【2月の行事案内】

- 2日(水) 常任理事会 18:00
- 4日(金) 北京オリンピック開会式(～20日)
- 9日(水) 6・9行動 12:00 近鉄上本町  
「9の日」宣伝 17:00 淀屋橋
- 10日(木) 大阪市議会開会(～3/29)
- 12日(土) 日本平和委員会理事会(～13日) 9:30～ 東京
- 15日(火) 沖縄連帯行動 12:00～ 近鉄上本町駅前
- 19日(土) 憲法会議代表者会議 14:00 市立社会福祉センター
- 22日(火) 安保定例宣伝 12:00 淀屋橋
- 24日(木) 府議会開会(～3/24)
- 27日(日) 石垣市長選
- 28日(月) ビキニデー全体集会 13:00 グランシップ静岡中ホール